



きっかけは、あなたの声

住民参加型のまちづくりを推進していくため、さまざまな声を市政に届けてください。

【名張市総合計画の計画期間】

「新・理想郷プラン」基本構想

2016(平成28)年度から概ね10年間

2016年度 2018年度 2022年度 2025年度

第1次基本計画
(3年)

第2次基本計画

第2次基本計画は、2019年度～2022年度の4年間とします

第1次基本計画2年目にあたる平成29年度の各施策の目標値に対する進捗率の平均は、49%となっています。今後、さまざまな課題を解決し

「まちづくり」と「行財政改革」に継続して取り組む計画

平成28年度からの3年間を基本計画とした第1次基本計画の取組成果や課題を踏まえた上で、この度、第2次基本計画(素案)を策定しました。

市政運営の基礎「総合計画」
総合計画「新・理想郷プラン」は、福祉、環境、教育、まちづくりなど、さまざまな計画や施策の総合的な指針です。「豊かな自然と文化に包まれて、誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張」を目指すまちの将来像に定めた基本構想(平成28年度からの10年間)と、これを実現するためのより具体的な取組内容を示した基本計画で構成しています。

ながら、住民満足度の向上を図っていく必要があるため、第2次基本計画は、これまでの施策ごとの取組成果や課題を踏まえ、本市の伸ばすべきところ、補うべきところを推進した上で、引き続き3つの重点戦略をはじめとした各施策を推進していきます。
市では、一定水準の行政サービスを維持した上で、行財政改革の取組を継続しつつ、独自財源の確保に取り組んできたところですが、今後も高齢化の進行などにより恒常的な財源不足が見込まれます。そのためにも将来にわたって持続可能な行財政運営に取り組み、目標達成に向けた進行管理に努めていかなければなりません。計画実現に向けた効果的な施策展開を図り、市民の皆さんが主体となって、助け合い、共に生きる社会を目指す「地域共生社会」をさらに進化発展させていきます。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63・7389
✉ kikaku@city.nabari.mie.jp

市民の皆さんの意見を反映する

パブリックコメント

条例や市の重要な計画などを素案の段階で市民に公表し、それに対する意見を考慮して意思決定を行う制度です

名張市総合計画

新・理想郷プラン

第2次基本計画

素案

意見募集期間
12月27日(木)

市の総合計画「新・理想郷プラン」の基本構想に掲げた施策に継続して取り組むための具体的な計画として、平成31年度から4年間の第2次基本計画の素案をとりまとめましたので、皆さんからのご意見を募集します。

【名張市総合計画の構成】

- 3つの重点戦略** 元気創造・若者定住・生涯現役を3つの重点戦略に掲げ、横断的・多面的に取り組めます。
- 40の施策別計画** 基本構想に示す5つの基本目標、15の基本施策に基づき、40の施策ごとに現状と課題、目標、取組内容を示します。
- 15地域の地域別計画** 各地域の「地域ビジョン」を最大限尊重した「地域別計画」を策定し、地域毎に示すまちづくりの基本方針などを示します。

持続可能な行財政運営に向けた取組方針

いつまでも暮らし続けることのできる自主自立のまちをつくるため、行財政運営分野の方針を示します。

重点戦略の中から推進する目標値の一部を紹介します。

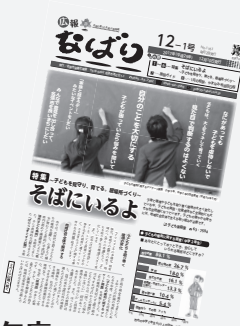
目標>> 働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う割合	目標値 35.0%
新たな産業や雇用の創出により、地域経済の活性化、将来を担う人材の育成に取り組めます。	現状値 2017年度 29.9% 目標値 2022年度 35.0%
目標>> 子育て支援策に満足している市民の割合	目標値 65.0%
「名張版ネウボラ」の推進や安心・安全な子育て環境づくりの整備に取り組んでいきます。	現状値 2017年度 57.3% 目標値 2022年度 65.0%
目標>> 健康な暮らしを送っていると感じる市民の割合	目標値 83.0%
いつまでも健康で生きがいを持って、地域社会の担い手として活躍できるまちを目指した取り組みを進めます。	現状値 2017年度 76.6% 目標値 2022年度 83.0%

市HPでご意見公開中!

メールサポーター

☎ 秘書広報室 ☎ 63-7402

毎号発行する広報なばりについて、分かりやすさや、興味が沸いたかなど、読んだ感想を電子メールで回答をいただいています。いただいた意見は、各担当室と共有し、今後の紙面づくりなどに反映するよう心掛けています。



こんな声も

平成30年度
メールサポーターの意見

- ▼市民が興味を持つ内容の記事にしてほしい!
- ▼政策の進捗を毎号に掲載してほしい。
- ▼もう少し詳しい方が興味を持てる。
- ▼特集がタイムリーな話題でびっくりしました。
- ▼(特殊詐欺の記事では) 事例や対処法、名張で起こった事例の掲載があれば関心が高まると思う。

第2次基本計画以外にも、現在2つのパブリックコメントを実施中です

2つの計画(素案)募集期間

～12月14日(金)

◆ 名張市地域防災計画及び名張市水防計画(改定) 素案

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271
✉ kikikanri@city.nabari.mie.jp

これまでの地域防災計画に、「南海トラフ地震に関する情報(臨時)」が発表された場合の対応や、高齢者・障害者・乳幼児など自ら避難することが困難な人を「避難行動要支援者」として早めの避難を促すことを明記するなど、近年の大規模災害における課題の対応について修正、追加しました。

こんな声も

薦原と美旗で 市総合防災訓練での試み

2つの地域合同で避難所



水が流せない場合のトイレ使用訓練

大雨や地震などの自然災害を想定した市総合防災訓練が11月17日に各地域で行われました。

そんな中、薦原と美旗の地域では、地域間の連携が必要だと連絡協議会を立ち上げ、今回、2つの地域の校区である北中学校で合同避難所運営訓練を初めて実施。避難所の受付、感染症対策などの確認、体育館で水が使えなかった場合のトイレの使用方法などの訓練を行いました。薦原地域の古谷会長は「地域が違うと知らない人も多い。この訓練を継続し、他のイベントなどでもつながりを持つことが、非常時にも役立つと思う」と話しました。



薦原と美旗地域の合同での訓練

SNSで魅力発信

フェイスブック ツイッター
Facebook・Twitter

☎ 秘書広報室 ☎ 63-7402



市内の催しや旬の話題、行政のお知らせを全国に発信しています。

利用者の皆さんからコメントや感想をいただきます。また魅力を感じた情報に対して「いいね!」という表示をすることができ、仲間に情報を広めたりすることができます。

ぜひ、一度ご覧ください。(市ホームページからも閲覧可)



秋の名張川花火大会の様子を発信
多くの皆さんに「いいね!」をいただきました。

◆ 名張市観光戦略〔2019改定版〕素案

☎ 観光交流室 ☎ 63-7648 ✉ kankou@city.nabari.mie.jp

外国人観光客をはじめ今後大きな経済効果が期待できる観光は、重要な産業の一つです。観光産業の活性化は、地域における消費の増加や新たな雇用創出などにつながります。

日々変化し続ける観光需要や市場の動向を踏まえ、「名張市観光戦略」を改定し「名張市の目指す観光の姿」や「重点戦略とその展開」などをまとめました。

こんな声も

名張高校生徒の取り組み

赤目四十八滝でアンケート

名張高校3年生の10人がマーケティング授業の一環として7月23日～28日に赤目四十八滝で市内を訪れた国内外の観光客331人にアンケート調査を実施しました。



調査結果を発表する名張高校生徒

外国人観光客には英訳した質問も用意し「なぜ赤目滝に来たのか」などを聞き取りました。調査を終えた生徒たちは「海外、北海道や九州など遠方からの観光客もいる」「ほとんどの人が日帰り」「滞在日数が限られているのに滝を目的に来たという外国人観光客がいた」「インターネットやSNSでもっと配信すべき」と調査結果をまとめ、市へ意見を発表しました。



渓谷入口で観光客に聞き取り

全てのパブリックコメント ご意見の提出方法・提出先

素案は、市ホームページ、または市民センター、市役所1階案内、各担当室でご覧いただけます。

「〇〇〇(素案)」に関する意見と記入し、素案に対する意見、氏名、住所、電話番号を書いて次のいずれかの方法で各担当室に送付ください。

- ◆電子メール ◆ファクス(64-2560) ◆郵便(〒518-0492 鴻之台1-1) ◆直接持参